

岐阜北週報



8月 会員増強及び拡大月間

□題 字	岡田 忍	□会 長	岡田 忍	
□例 会	毎週水曜	□副会長	波多野光裕	2010-2011
□会 場	岐阜都ホテル	□幹 事	谷田 育子	No.1364
		会報委員長	長野 鉄司	10.8.4 発行

前回の記録

第 1363 回例会 7/25 (日)
R I 第 2630 地区岐阜 A 分区
ガバナー公式訪問・I M 合同例会
担当：会長・幹事

本日の予定

第 1364 回例会 8/4 (水)
慶祝行事
定時総会 (前年度決算承認)
担当：会長・前会計

次回の予定

第 1365 回例会 8/11 (水)
クラブアッセンブリー (4) I A 年次
大会報告・第 3600 地区インターアク
ト年次大会交流派遣学生帰国報告

会長挨拶 【岡田 忍 会長】

ガバナー公式訪問 I M・合同例会報告書
にて掲載

出席報告

会員数：36 名
出席数：33/36
出席率：91.66%
欠席者：3 名 (出席免除 2 名 97.22%)

I M・合同例会

ガバナー 桑月心 (高山 RC)



今日は第 2630 地区 12 分区のトップを切って A 分区の I M です。森本ガバナー補佐を中心とした I M 担当の岐阜北クラブの皆様、準備等で本当にお世話をおかけしました。

以前ホームクラブ高山クラブが I M を担当することになりました。私は縁あって実行委員長をおおせつかりました。その時あまり深い考えもなく、ただ、

講演会の講師さえ、いい人を選び、あとは分区のみなさんに、遥々岐阜県の北にきてもらうのだからいわず「おもてなし」の心で親睦を中心にやろうと企画しました。今思うとはずかしいのですが、何のための親睦かを全く考えていなかったことでした。

やはり柱は 2 本あり、①会員・クラブ同士の親睦は一つだが、②親睦をよりどころとしたロータリーのいろんな問題にあかりをあて、ロータリーを皆で考え、他のクラブの実例を学ぶことが中心ではないでしょうか。

今一度、奉仕の理念を受け止め、ロータリーの活動は職業奉仕を通じた個人奉仕が基本であり、クラブが行う奉仕活動は会員の訓練のための実例だということを理解して下さい。

ガバナー補佐 森本時夫 (岐阜北 RC)



本日は岐阜 A 分区の I M 並びに合同例会に、桑月 心ガバナーのご出席をいただき厚くお礼申し上げます。

地区研修委員長のパストガバナー由良久様、パストガバナーの皆様方、そして石井惣司ガバナーエレクトをはじめ地区役員の皆様には遠路よりご出席

I M・合同例会

いただき誠にありがとうございます。

また、岐阜A分区の会員の皆様には多数の出席をいただいております。今日一日、ロータリーの研修と親睦に努めていただきます様をお願いします。

さて、皆様も既にご承知の通り今年度のR I 会長レイ・クリングスミス氏のテーマは「地域を育み大陸をつなぐ」であります。

桑月 心ガバナーは「一つの事にこだわらず幅広い活動を通して奉仕を」と唱えられています。

本日のI Mには、我々に身近な方 岐阜A分区の故金正司氏に講演をいただきます。

R I 会長のテーマにふさわしい内容となり、ロータリー活動に夢を与えてくれるお話がいただけると思います。本日のI Mが実り有るものになります事を願っております。

最後になりましたが本日のI Mに、そして合同例会開催に当たってご尽力下さいましたホストクラブ岐阜北ロータリークラブの岡田会長・若山実行委員長をはじめ、関係各位に心より感謝申し上げます。

I M・合同例会 スケジュール

日 時：平成 22 年 7 月 25 日 日曜日
10：00～13：30

場 所：岐阜都ホテル ボールルームB・C
ホスト：岐阜北ロータリークラブ

インターシティミーティング（10：00～12：00）

司会 国井 省二（岐阜北RC）

10：00 点鐘 森本時夫ガバナー補佐

閉会挨拶 森本時夫ガバナー補佐

特別参加者・地区出向者紹介

講師紹介 森本時夫ガバナー補佐

講 演

演題 夢をかたちに「カラウイに蚊帳を送る」 故金正司様

カウンセラー挨拶 パストガバナー

由良 久地区研修委員長

次期ホストクラブ発表 森本時夫ガバナー補佐

次期ホストクラブ会長挨拶 故金正司
岐阜中 RC 会長

12：00 点鐘

昼食（12：00～12：30） 会場 ボールルームA

ガバナー公式訪問 合同例会（12：30～13：30）

司会 谷田 育子幹事（岐阜北RC）

12：30 点鐘 岡田忍会長（岐阜北RC会長）

国歌・ロータリーソング斉唱

四つのテスト唱和 宮地正直（岐阜中RC）

ホストクラブ会長挨拶 岡田忍会長
（岐阜北RC）

出席報告 辻寛幹事（岐阜長良川RC）

12：45 ガバナー紹介 森本時夫ガバナー補佐

ガバナー卓話 桑月心ガバナー

13：25 閉会挨拶 大松利幸会長（岐阜RC）

点鐘 上松謙介会長（岐阜西RC）

ガバナー公式訪問 会長・幹事懇親会

（13：30～14：30）

会場：輝の間

講師：故金 正司（かるがね まさし）



テーマ：「夢をかたちに」 マラウイに蚊帳を送る

（現地報告）

由良ガバナー（2008～2009年度）はR I テーマ「夢をかたちに」より環境保全を地区テーマにかかげスタートした。「夢をかたちに」の内容は識字率の向上、病気や飢餓で苦しむ子供達に手を差し伸べる内容であった。由良ガバナーは環境保全と子供達の生命を守る大切さを結びつけ、アフリカ国内でマラリアが原因で死亡する5才未満の子供達が年間100万人もいる情報を知ることから始まった。

地区協議会の折に由良ガバナーは「しゃぼん玉」の歌を歌われた。野口雨情が子供を亡くした時に作詞をした歌である。ガバナーの優しい気持ちが表現された一コマであった。そこで防虫剤練り込み素材の蚊帳が登場したのである。そしてこの蚊帳の送り先と管理を依頼できるNGO法人のNICCOとの出会いがあり、現在マラウイ共和国に職員が在住し国家予算で「マラウイプロジェクト」として支援活動をしている京都のグループであった。

このNGO法人との出会いにより、蚊帳の現地宅配、3カ月に一度宅配後の保有率をモニタリング、（半年間経過後の保有率は90%である。）こうしてマラウイ共和国の子供達の生存率を高め「夢をかたちに」が実現に向ったのである。

この事業のお手伝いは地区環境保全委員会が活動窓口として由良ガバナーによる募金の呼びかけで実行に移された。約2,000張りの「防虫剤練り込み蚊帳」がマラウイ共和国のンコタコタ村に昨年7月に配布された。私は①その後の経路。②蚊の発生する環境調査と対策を目的に関西空港を後にした。

IM・合同例会

1月25日夕刻のことである。現地のンコタコタ村に到着するまで日本から3日間の日数を要し現地での調査活動は3泊4日の日程で行われた。

日本から約12,000km、赤道直下のこんなに遠くによく来たもんだ。



* 詳細は後日、ガバナー公式訪問IM合同例会報告書にて

次回例会のご案内
 第1365回 8月11日(水)
 クラブアッセンブリー(4)
 IA年次大会報告
 担当: インターアクト委員会

会報・広報8月担当 西垣康紀

マラウイに蚊帳贈る

国際ロータリー第2
 岐阜A分区分区 マラリア予防

国際ロータリー第2
 630地区岐阜A分区分区
 のインターシティミー
 ーティングと合同例会
 が、岐阜市長良福光の
 岐阜都ホテルで開かれ
 た。蚊を媒介にした伝
 染病マラリアによる死
 者が多いアフリカのマ
 ラウイへ同地区が昨年
 贈った蚊帳について報
 告が行われた。
 岐阜と三重県でつく

国際ロータリー第2
 630地区岐阜A分区分区
 のインターシティミー
 ーティングと合同例会
 が、岐阜市長良福光の
 岐阜都ホテルで開かれ
 た。蚊を媒介にした伝
 染病マラリアによる死
 者が多いアフリカのマ
 ラウイへ同地区が昨年
 贈った蚊帳について報
 告が行われた。
 岐阜と三重県でつく



昨年マラウイに贈った防虫蚊帳について報告した故金正司さん(左)＝岐阜市長良福光、岐阜都ホテル

岐阜市則武中で害虫
 駆除業を営む故金正司
 岐阜中ロータリークラ
 ブ会長(61)が今年1
 月、日本国際民間協力
 会(NICCO)の協
 力でマラウイを訪問。
 同ミーティングで蚊帳
 の使用状況などの現状
 を報告した。
 故金さんは、配布前
 と後では、配布先の村
 の5歳未満のマラリア
 感染率が7割から4割
 に減少したと説明。「蚊
 帳は高価で家に1張り
 しかない場合、両親が

使い、人数が多い子ど
 もは蚊帳の外で寝るか
 ら感染率が高い。子ど
 もも蚊帳が必要」と述
 べた。岐阜A分区分は今
 秋までに新たに蚊帳
 (1張り500円)を
 贈る予定で、出席者に
 募金を呼び掛けた。
 (沢野都)